

指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議 沿線地域の高校生とのワークショップ 開催結果概要

地域の将来を考えるにあたり、「指宿枕崎線」や「沿線地域」の価値をどのように認識し、地域づくりに活かしていくかという視点のもと、地域の可能性や方向性を見いだしていくことを目的に、将来を担う沿線地域の高校生を対象としたワークショップを開催したところであり、その概要は以下のとおり。

- 1 日時 令和6年10月28日(月) 13:00~16:00
- 2 場所 指宿市役所 山川庁舎 大ホール
- 3 出席者
 - ・沿線地域の高校生 55名
(指宿, 指宿商業, 山川, 穎娃, 鹿児島水産, 枕崎の6高等学校)
 - ・鹿児島県(交通政策課, 南薩地域振興局), 指宿市, 南九州市, 枕崎市, JR九州, 有識者の検討会議メンバー
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) ワークショップ
 - ① 指宿枕崎線の将来のあり方の検討に至る背景等
 - ② Uターン者等のビデオレター, 講演
 - ③ ファシリテーター(有識者)による考え方や進め方の説明
 - ④ ディスカッション(「地域」や「鉄道」の魅力・価値等, その活かし方)
 - ⑤ まとめ
 - (4) 閉会
- 5 ディスカッションの主な内容
 - 沿線地域の魅力・価値等
 - ・食や自然が豊かで, 地域の特産品も多く, 地域の人が優しいなどの魅力・価値があるというメリットが挙げられた反面, 若者が少なく, 遊ぶ場所が少ない。通信環境が悪く, 駅も古いなどのデメリットが挙げられた。
 - 指宿枕崎線の魅力・価値等, その活かし方について
 - ・車窓からの景色が美しく, 駅でのコミュニケーションもでき, 身障者への配慮も厚く, 良い意味で人が少ないため気軽に乗れるなどのメリットが挙げられた反面, 列車本数が少ないことや, 次の列車が到着するまでの時間が長い, 運行中の激しい揺れなどのデメリットが挙げられた。
 - ・これらメリット・デメリットの活用・改善として, 列車の外装のリデザ

インや、写真スポットの増加、自然に近い駅としての売り込み、車両の中での地域食材の飲食・配布、駅で遊べ、カフェの併設などゆっくりできる空間を創出などのアイデアが出された。

○ まとめ

- ・ 本日出された意見などを次回以降、更に深掘りするなど、今回のWSで終わることなく、意見等のフィードバックを行いながら、引き続き、一緒に議論を積み重ねていくことを確認した。

以上